

令和3年度「清流の国ぎふ」づくり

自然共生工法写真コンテスト

応募作品

No. 1

）

No.12

主催 岐阜県自然共生工法研究会
共催 岐阜県



①



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

中津川の夏

撮影場所

中津川市中津川（中津川）

撮影日

令和3年7月29日

応募者コメント

この写真は、5年ほど前に施工した床固め工です。コンクリートの摩耗を防ぐゴムの素材も苔が付いて自然な感じになりました。天端に現地の石を配置し、耐摩耗はもちろん、魚道や自然景観の回復効果もみられます。

②



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

八重桜咲く羽根谷

撮影場所

海津市南濃町奥条

撮影日

令和3年4月11日

応募者コメント

海津市にある羽根谷だんだん公園は、八重桜が 1000 本あり、また、ソメイヨシノも 800 本程ある桜の名所です。羽根谷には明治時代にオランダ人技師の指導で造られた巨石堰堤をはじめいくつかの堰堤が造られており、長い時を経て人工的に造られた堰堤が周りの自然に調和するような石積の形に変化し綺麗な景観になっています。

③

H22完成直後



R3 完成後11年経過



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

保安林地域の環境保全施工

撮影場所

下呂市馬瀬（一之谷）

撮影日

令和3年4月20日

応募者コメント

森林の環境保全機能を高めるため、従来種緑化と自然緑化を目的とした工法の一つで土留は鋼製枠を使用し、法面は植生マットと植木は「かや」を植え今日までに緑化が進んでいるのが伺えると思います。治山の崩壊による土砂流出を防ぎ、魚類(岩魚)が生息する溪流を荒らさない工法として施工しました。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

地元にも愛される自噴水

撮影場所

岐阜県大垣市加賀野（加賀野八幡神社）

撮影日

令和2年8月24日

応募者コメント

環境省の「平成の名水百選」に選ばれた自噴水で、流出先の清流には放流したハリヨが育っています。石を基調とした外観は周囲と調和して美しい空間を形成し、地元の定期的清掃活動により水環境が保全されています。

⑤



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

春のそよ風を受けて

撮影場所

岐阜県岐阜市司町（ぎふメディアコスモス）

撮影日

令和3年5月25日

応募者コメント

木陰が陽光をやわらげ、春のそよ風が吹き抜けています。
木陰は開放感があり、心地良い空間となっています。
新緑は美しく、ウッドデッキは地面を保護するとともに人々に木陰の憩いの場を提供しています。

⑥



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

茶畑でマチュピチュ気分

撮影場所

岐阜県揖斐郡揖斐川町春日(旧春日村)

撮影日

平成21年6月21日

応募者コメント

2009年頃に茶畑の圧倒的景観に感動し、ボランティア活動の一環としてエコカフェ、エコツアー、茶畑の市民オーナー制度を展開しました。covid19直前にも再訪しましたが、いつの間にか岐阜のマチュピチュなどと呼ばれ有名になっていました。以前の写真の方が出来が良かったので、それを応募します。景色は変わっていません。

7



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

自然環境と治水の共生

撮影場所

五六川（瑞穂市）

撮影日

令和3年8月18日

応募者コメント

洪水時における五六川の様子。
遊水池を取り囲む低茎植物と、アクセントとなる中洲の高木林が、
良好な自然環境を創出している。
洪水時でも流れが緩やかな遊水池で、カルガモが遊泳している。
自然環境と治水機能が共生していると言える。

⑧



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

道の駅 清流白川クオーレの里

撮影場所

加茂郡白川町（白川）

撮影日

令和3年8月22日

応募者コメント

道の駅 清流白川クオーレの里では隣接する白川に溪流が整備されています。いまはコロナ過でさびしいけれど、子供から大人まで川で楽しむ姿が目に見えます。

⑨



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

津保川

撮影場所

関市稲口（津保川）

撮影日

令和3年8月22日

応募者コメント

通り過ぎりの堤防道路にて、定期的に草刈りを行っているのか、河岸から水際まで、草地となっており、人工物もなく自然豊かな河川が印象に残りました。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

自然共生認定工法その1

撮影場所

瑞浪市稲津町小里（小里川）

撮影日

令和3年8月22日

応募者コメント

根固めブロックの上部に石を配置し、自然景観配慮がなされていた。その下流には、自然共生認定工法である「キョーワ式フィルターユニット工法」が根固めブロックと護岸との間の自然環境の創出を目的に、平成17年度に施工されている。一部洗堀によりなくなっているが、植生の回復が図られている。

11



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

自然共生認定工法その2

撮影場所

高山市国府町（宮川）

撮影日

令和3年8月8日

応募者コメント

平成17年度に自然共生認定工法である「緑化連節ブロック工法（アコール）」が施工された箇所である。植生の回復が目的であったが、ねらいどおりの植生の回復が図られている。

12



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

自然共生認定工法その3

撮影場所

岐阜市山県岩地（石田川）

撮影日

令和3年8月21日

応募者コメント

平成17年度に自然共生認定工法である「グリーンストーンによる水際植生工法」が施工された箇所である。こう配が急な護岸にもかかわらず、狙いどおりの良好な自然環境の復元できている。